

片平地区社会福祉協議会

# ふれあい片平

発行 令和 2 年 3 月

## ◆はじめに◆

令和 2 年 3 月 5 日(木)開催予定の福祉委員「全体研修会」は、新型コロナウイルス感染防止対策の一環として中止とさせていただきます。皆さま方におかれましては、今しばらくの間 不要不急の外出を控え、手洗いやうがい・マスクの着用などを徹底し、自己防衛と感染防止に努めていただくようお願い申し上げます。

## ◆研修予定のテーマについて◆ 「災害時…あなたは何かができますか？」

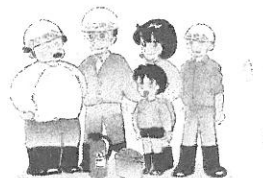
福祉委員の皆さんは、こう聞かれても「何もできませんよ!」「いったい何ができるというの?」という疑問を持たれる方が大多数だと思います。もともとお年寄りの「見守り」から始まった福祉委員の皆さんの活動ですが、防災の第一歩はまず自分の住む地域を知ること!を考える上で、地域の方々と密接な関係を築き上げ、よりその地区・地域の特性について熟知している福祉委員なればこそ考え得る、災害への心構えや備え・アイディア等を提案していただく場、地域に埋もれている名案の発掘の機会として、このテーマとさせていただきます。

国や自治体が担う公助について、この日本では世界でも稀にみる体制づくりがなされています。平時であれば救急車や消防車がすぐに駆け付ける、ひとたび山や海で遭難者が発生すれば、数十人体制での捜索隊が編成されたり、所管の救助ヘリコプターが捜索・救助に飛び立ってくれます。国民一人一人の命を大切にする体制作りや装備の拡充、隊員の皆さんが日々スキルの向上を図っている姿などは、災害国日本ならではのことでしょう。ところが、大地震や豪雨など広域に渡る大規模災害が発生すると、これが一変してしまいます。阪神淡路大震災では、火災があちらこちらで発生しました。地割れ・倒壊建物で道路が寸断、避難する人の群れ車の渋滞で消防車が到着できない事態が発生し、倒壊家屋に閉じ込められたまま焼死するという悲惨な犠牲者が数多くでてしまいました。また東日本大震災では津波で陸路が壊滅し、唯一頼りとされた空からの救助要請に対して、あまりに広域に渡ったための混乱と情報の錯綜のため、同じ要救助者のもとへ複数のヘリが向かったり、逆に飛来しなかったりの錯乱が生じて無駄に犠牲者を増やしてしまったという苦い経験もあります。いざ広域災害が発生すると公の機関だけでは手が回らなくなるというのが実情です。このため、災害時には自分の身は自分で守る!という「自助」、ご近所さんや地域の住民で互いに助け合う「共助」に大きな期待がかけられるようになりました。

私たちの住む片平地区では、東日本大震災時に帰宅困難者で溢れてしまった指定避難所「片平丁小学校」の実情を教訓に補助避難所「がんばる避難所」や「いつとき避難場所」を新たに設定し、合わせて帰宅困難者の受け入れ施設の提供を市や町の企業に要請してまいりました。また災害時の備えとして避難者向け防災行動マップを作製し避難場所の確認ができる工夫もしてまいりました。しかし、昨年新たになった市ハザードマップでは浸水地域の拡大、崖崩れ危険の区域が新たに加わり、これらに関しても再検討しなければなりません。



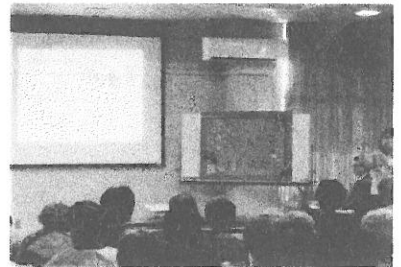
この地域で既に行われている防災への取り組みや、町内会等で既に実践されている「自助」の呼びかけなどの紹介も含め「自助」「共助」について、皆様と共に福祉委員にできる備えを考えてゆきたいと思います。



## ふれあいサロンの紹介

### 《米ヶ袋福祉班》 「お茶っこ会 健康教室」開催

令和元年11月13日(水) 片平市民センターにおいて、イムス明理会仙台総合病院リハビリテーション科、言語聴覚士の斎藤智子氏を講師としてお迎えして「口腔ケアで元気に長生き」の講演をしていただきました。高齢者が食べ物をより美味しくより安全に楽しむために必要なお口のケアについて「嚥下体操」や「唾液腺マッサージ」などの指導も含めて丁寧にお話いただきました。お話の後は、ピアノ伴奏のもと参加者の皆さんで「上を向いて歩こう」「もみじ」などを合唱しました。 参加 80 名(委員 18名)



### 《霊屋下福祉班》 「クリスマス会」開催

令和元年12月14日(土) 霊屋下第二市営住宅集会所において、地区の子供会も交えてクリスマス会を開催しました。福祉委員の知人のお嬢さんによるフルート演奏が始まると会場は緩やかな空気に包まれ皆聞き入っておりました。フィナーレは演奏者が「くきよしこの夜」を一緒に～！の声に、参加者全員で合唱♪クリスマス気分が盛り上がり素晴らしいひと時に♪その後、ケーキや軽食を頂きビンゴゲームやカラオケで盛り上がり、あっという間のメリークリスマス！ 参加者 61 名(委員 14 名)



### 《花壇大手町福祉班》 喫茶室「よつば」開店！

令和元年11月8日(金) 若林さみ記念 老人憩いの家にて、喫茶室「よつば」開店！今回は、福祉委員 桑原美智子さんによる「フラダンスショー」開演～♪ハワイアン心地よい音楽と見事なフラダンスに酔いしれ、まるでハワイに行ったような気分♪ゆったりとした空気が流れ、穏やかな楽しいひと時を過ごしました。 参加 53 名(スタッフ 20 名)



### 《大広会福祉班》 「新聞紙を使ったゲームに挑戦♪」

令和元年10月23日(水) 良覚院丁「緑水庵」にてサロンを開催。昼食後は恒例のおしゃべりタイム。腹ごなしに脳トレをして、これまた恒例懐メロの大合唱♪若かりし頃の思い出話に花が咲き、毎回笑い笑顔に溢れます。また、今回は新聞紙を使ったゲームに挑戦！ボールと袋を作ってボールキャッチや玉転がしなど、椅子に座りながらできる体操を兼ねたゲームをして楽しみました。 参加 19 名(委員 6 名)



### 《柳町福祉班》 「塗り絵を楽しんで脳を活性化しましょう♪」

令和元年11月10日(日) 柳町集会所において、お茶っこ会を開催しました。今回は、今話題の「大人のぬり絵」に挑戦！市販のぬり絵とはいえレベルも種類も実に豊富ですが、今回ははがきサイズのお花柄の下絵を使用しました。皆さん夢中になってもくもくとぬり絵を進めました。脳を活性化した後は、ほっと一息楽しいお茶っこタイム、お互いの作品を見せ合い楽しいひとときを過ごしました。参加 18 名(スタッフ 11 名)



### 《北目町福祉班》 講話「転倒予防講座」

令和元年10月25日(金) 西仙台病院より作業療法士の方をお招きして、「転ばないための環境づくり」について様々なお話をいただきました。転倒事故は案外家の中が多いということを知り、家の中で段差をなくすこと、床に滑りやすいものを置かないなどの防止策や椅子に座ってできる体操なども学びました。その後は、お弁当となめこ汁を頂きながら談笑タイムとなりました。参加 16 名(委員 9 名)

